

## 薬学部生の就職先選びは「5K」 就職先の給与・待遇を考える

就職先を選ぶ時のキーワードは、「規模」、「給与」、「勤務地」、「教育・研究」、「休日・休暇」。これらが5Kです。

前回は病院薬剤師の給与について書きました。多くの皆さんが初任給で就職先選びをしているからです。5Kに「経験」や「やり甲斐」を加えたいところです。

今回も少し給与や待遇について紹介してみます。

### ●ベースアップ、昇給

#### ●進路支援システムでベースアップや昇給を知る

進路支援システムの「求人情報検索(データベース)」の情報(初任給)を使って、製薬企業や病院、薬局の昇給やベースアップの状況をチェックします。

気になる会社や病院の求人を検索します。2013年卒の場合、まだ求人が届いていなければ2012年の求人データ(初任給)を参考にしましょう。次に2011年の初任給をチェックします。年度で数値が違っていればベースアップがあったこととなります。変化がなければベースアップがなかったと判断できます。

#### ○例 K大学病院(神奈川)の初任給比較

2012年 修士課程修了者 22万3000円(職務手当含)

2011年 修士課程修了者 21万8400円(職務手当含)

この病院では、1年間で4600円のベースアップがあったことが推察できます。

次に学部生と大学院生の初任給を比較しましょう。

#### ○例 N薬局(東京)の比較

2012年 修士課程修了者 23万8000円(地域手当含)

2012年 学部卒業者 23万円(地域手当含)

2歳の年齢差が8000円。各年度の昇給が4000円だったことが推測できます。

#### ○例 バイエル薬品の初任給比較

2012年 修士課程修了者 30万9267円

2012年 学部卒業者 28万2775円

2011年 修士課程修了者 28万8650円

2011年 学部卒業者 26万3925円

採用時点の給与が学部卒で1万8850円ベースアップになっています。また2012年の修士課程と学部卒の差は2万6492円ですから、1年間で約1万3000円の昇

給があったと推測できます。

#### ○例 小野薬品、大日本住友製薬、武田薬品など各社

2012年 修士課程修了者 24万4000円

2012年 学部卒業者 22万円

2011年 修士課程修了者 24万4000円

2011年 学部卒業者 22万円

内資業界は、初任給について共同歩調をとっていません。平均年収1000万円を超えるといわれるエーザイ、大塚製薬、アステラス製薬は別格としても、平均年収700万円を超える安定業界です。MRは、現場に出れば昼食手当や営業手当、出張手当など様々な手当がつくため、単純に初任給で比較しない方がいいでしょう。

#### ○初任給が学部生と修士修了と同額の場合

次のことが考えられます。

1. 経験給(社歴)を採用している。
2. 能力給を採用している。
3. 昇給があまりない。

### ●生涯収入・年収

#### ●週刊東洋経済のデータ

週刊東洋経済が2006年に厚生労働省のデータをもとに右の特集をしました。その後同様の調査が行われていないので今でも活用されています。

冊子の発売後、2008年にはリーマンショックがあり、今では正規労働者の減少という動きもあります。上場企業サラリーマンの平均年収は400

万円程度になったともいわれます。その中で医薬業界は、世界経済の影響を受けずにきた珍しい存在です。

東洋経済のデータは、以下のサイトで見られます。

MSNマネー

[http://special.msn.co.jp/money/salary/life\\_salary/001.html](http://special.msn.co.jp/money/salary/life_salary/001.html)

ただしこのデータは国内企業だけの資料です。ヤンセンなど外資系企業は一段と高い報酬を得ており、その金額・待遇には驚かされます。

